

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム

1 施設の管理運営

令和6年度より、併設の介護保険関連事業だけでなく、障害福祉サービスについても一体的に運営することを目指した組織に変更した。園長は、特別養護老人ホームの施設長を担当、副園長は、併設の障害福祉サービスの施設長を担当とした。その上で、人材確保・人材育成・ケアの標準化・保守管理・老朽化対策・経費削減・BCP策定・感染症対策・協力医療機関連携・リスクマネジメント・虐待防止・身体的拘束廃止などに関して、高齢・障害に共通する方針やマニュアルの整備に努めている。また特に風通しの良い組織作りを目指し、不適切ケア・ハラスメント対策など、法人内外の資源を活用し、工夫改善を行っているところである。

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：特別養護老人ホーム）
【開所時間及び開所日】24時間365日
【利用定員】特別養護老人ホーム(50名)
【サービス内容】
・施設サービス計画の作成
・個別機能訓練の実施
・栄養ケアマネジメント計画の作成実施
・健康管理・食事・排泄・入浴・口腔衛生・生活介護
・生活相談・余暇活動・所持品保管・必要な場合の行政手続等

(2) 指定管理業務（企画提案業務）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

- ・自動販売機の設置

3 サービス提供状況

【特別養護老人ホームの職員配置】
①管理者 1名 ⑤介護職員 18名以上
②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名
③生活相談員 1名 ⑦機能訓練指導員 1名
④看護師 4名 ⑧介護支援専門員 1名
【利用状況】
一日平均利用人数 49.5名
平均要介護度 3.98

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。

- ・厨房業務
- ・施設敷地の除草

4 市内中小企業への発注に対する考え方

- ・市内中小企業に優先して発注するように努めている。
- ・近隣の障害者就労事業所への業務委託を行っている。

5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)延べ利用者数

①令和6年度実績値 人

②令和7年度目標値 人

(2)稼働率

①令和6年度実績値

②令和7年度目標値

(3) 収支実績

ア 本来業務（特別養護老人ホーム）

令和6年度収入状況及び支出の状況

（単位：円）

介護保険収入	199,995,513
利用料収入	30,029,700
委託料収入	81,400
補助金収入	1,628,083
寄付金収入	0
雑収入	632,194
その他	440,446
収入計	232,807,336

人件費	179,617,603
事業費	52,291,740
委託費	24,904,050
小額修繕費	2,296,288
その他	16,964,385
支出計	276,074,066

オ 令和6年度自主事業（自動販売機）に関する収支状況（単位：円）

収入	
支出	9,434
収支状況	(9,434)

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

「満足度調査アンケート」

①実施期間 令和6年9月～10月末

②対象者 利用者及び家族

③調査方法 質問項目：13項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

(2) 利用者満足度把握の結果

「満足度調査アンケート」結果

【回答者数】家族 38名/48名（回答率79%） 利用者28名/28名（回答率100%）

【評価方法】5段階無記名方式 5良い 4やや良い 3普通 2やや悪い 1悪い

【総合評価】ご家族からの評価結果は概ね「3普通」以上の評価であるが、電話の対応の項目以外は、令和5年度より悪化した。面会を一部制限していることから、面会制限の緩和の希望や、衣類購入を事業所に対応できないか、居室や食事の様子を見せてほしいといった要望があった。ご利用者からの評価結果は、評価結果1・2も散見し、外出や行事を増やしてほしいとの要望があった。

(3) 意見等への主な対応状況

- ・アンケート調査でいただいた意見等の内、急ぐ内容は個別に対応を行った。それ以外は集計結果を職員で供覧の上、振り返りを行った。面会は段階的に緩和した。外出や行事の機会をつくった。
- ・家族には集計結果を書面（広報誌）にて周知し、ホームページ上に掲載した。
- ・毎年、第三者委員懇談会を年1回開催し、アンケート内容及び苦情対応状況を報告する。
- ・接遇マナーの内、特に言葉使いの改善・挨拶の励行や、ご利用者主体の環境整備について改善をしている。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

【施設の利用状況】

・利用状況は3及び5に記載の通り。入所申請待機者数は年々減少傾向。面会緩和。

【収支状況】

・令和6年度の報酬改定の影響から施設介護料収益は上がったが、物価高騰の影響を含め、人件費・食費・水道光熱費・老朽化に伴う施設整備・修繕費等の費用により、収支に課題があり。早急な改善を目指していく。

【人材確保】

・法人単位で人材確保対策をしているが、家庭事情やスキルアップのための転職などが相次ぎ、職員体制が厳しい状況があり、ショートの稼働率に影響を来している。

【人権研修及びハラスメント対策】

・人権研修を実施、無差別平等の原理や尊厳の保持・利用者主体という内容について、虐待防止・身体的拘束廃止と合わせて研修の機会を設けた。

・ハラスメントについては、指針・マニュアルの作成と周知を行った。また、法人本部へのご意見箱についての活用や所属長や人事担当者のヒアリングの機会を設け、職員が気軽に不安や苦痛を相談しやすい体制づくりを目指している。

【感染症対策】

・協力医療機関の感染管理認定看護師の協力を得、研修・訓練を実施しているが、新型コロナ・RSウイルス・パラインフルエンザなど、継続した感染予防及び標準予防策の徹底に努めていく。

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム
短期入所施設

1 施設の管理運営

令和6年度より、併設の介護保険関連事業だけでなく、障害福祉サービスについても一体的に運営することを目指した組織に変更した。園長は、特別養護老人ホームの施設長を担当、副園長は、併設の障害福祉サービスの施設長を担当とした。その上で、人材確保・人材育成・ケアの標準化・保守管理・老朽化対策・経費削減・BCP策定・感染症対策・協力医療機関連携・リスクマネジメント・虐待防止・身体的拘束廃止などに関して、高齢・障害に共通する方針やマニュアルの整備に努めている。また特に風通しの良い組織作りを目指し、不適切ケア・ハラスメント対策など、法人内外の資源を活用し、工夫改善を行っているところである。

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：短期入所生活介護）
【開所時間及び開所日】24時間365日
【利用定員】(4名)
【サービス内容】
・短期入所生活介護計画の作成
・送迎・健康管理・食事・排泄・入浴・口腔衛生・生活介護
・機能訓練・余暇活動・所持品保管・必要な場合の行政手続等

(2) 指定管理業務（企画提案業務）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

・自動販売機の設置

3 サービス提供状況

【特別養護老人ホームの職員配置】
①管理者 1名 ⑤介護職員 18名以上
②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名
③生活相談員 1名 ⑦機能訓練指導員 1名
④看護師 4名 ⑧介護支援専門員 1名
【利用状況】
一日平均利用人数 2.6名
平均要介護度 3.14
【事業制限】
令和7年2月以降、複数の退職希望者があり、その職員確保ができるまでの期間、新規利用者の獲得を減らすことになった。

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・厨房業務
・施設敷地の除草

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するように努めている。
・近隣の障害者就労事業所への業務委託を行っている。

5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)延べ利用者数

①令和6年度実績値 人

②令和7年度目標値 人

(2)稼働率

①令和6年度実績値

②令和7年度目標値

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人短期入所施設）

介護保険収入	9,987,196
利用料収入	2,151,878
委託料収入	0
補助金収入	86,324
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	197
収入計	12,225,595

令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	0
事業費	832,684
委託費	1,808,229
小額修繕費	0
その他	383,215
支出計	3,024,128

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

「満足度調査アンケート」

①実施期間 令和6年9月～10月末

②対象者 利用者

③調査方法 質問項目：13項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

(2) 利用者満足度把握の結果

「満足度調査アンケート」結果

【回答者数】9名/12名（回答率75%）

【評価方法】5段階無記名方式 5良い 4やや良い 3普通 2やや悪い 1悪い

【総合評価】評価結果は概ね「3普通」以上の評価のとなっている。令和5年度と比較し、担当者からの説明、気持ちの良い挨拶、相談援助、満足度が下がった。

(3) 意見等への主な対応状況

・アンケート調査でいただいた意見等の内、急ぐ内容は即対応を行った。それ以外は集計結果を職員で供覧の上、振り返りを行った。

・家族には集計結果を書面（広報誌）にて周知し、ホームページ上に掲載した。

・毎年、第三者委員懇談会を年1回開催し、アンケート内容及び苦情対応状況を報告する。

・接遇マナーの内、特に言葉使いの改善・挨拶の励行や、ご利用者主体の環境整備について改善をしている。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

【施設の利用状況】

・利用状況は3及び5に記載の通り。

【収支状況】

・令和6年度の報酬改定の影響から施設介護料収益は上がったが、物価高騰の影響を含め、人件費・食費・水道光熱費・老朽化に伴う施設整備・修繕費等の費用により、収支に課題があり。早急な改善を目指している。

【人材確保】

・法人単位で人材確保対策をしているが、家庭事情やスキルアップのための転職などが相次ぎ、職員体制が厳しい状況があり、ショートの稼働率に影響を来している。

【人権研修及びハラスメント対策】

・人権研修を実施、無差別平等の原理や尊厳の保持・利用者主体という内容について、虐待防止・身体的拘束廃止と合わせて研修の機会を設けた。

・ハラスメントについては、指針・マニュアルの作成と周知を行った。また、法人本部へのご意見箱についての活用や所属長や人事担当者のヒアリングの機会を設け、職員が気軽に不安や苦痛を相談しやすい体制づくりを目指している。

【感染症対策】

・協力医療機関の感染管理認定看護師の協力を得、研修・訓練を実施しているが、新型コロナ・RSウイルス・パラインフルエンザなど、継続した感染予防及び標準予防策の徹底に努めていく。

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書
(施設内に地域包括支援センター又は老人介護支援センターがある居宅介護支援事業所)

施設名 桂川居宅介護支援事業所

1 施設の管理運営

居宅介護支援
管理者を含め2名体制（主任介護支援専門員1名、介護支援専門員1名）で運営している。
管理者（主任介護支援専門員）がもう一人の介護支援専門員の管理、居宅介護支援の申込に係る調整、業務の実施状況の把握、その他の管理を一元的に行うと共に、運営基準を遵守するべく、指揮命令を行っている。

2 事業実施内容

指定管理業務（本来業務：居宅介護支援）
・年間給付管理数 900件（月平均75件）を目標。結果、844件（月平均70.3件）1人あたり35.2件
・通常の事業の実施地域 京都市西京区（洛西支所管内・松陽・松尾・嵐山東学区を除く）
・利用相談の受付から要介護認定結果受領後の必要な支援に向け、暫定プランの作成、サービス提供事業所との紹介と決定、サービス担当者会議、居宅サービス計画の決定、計画の実行、モニタリング、利用者・家族・サービス提供事業者との連絡調整、居宅サービス計画の評価、給付管理を行う。
・必要に応じて行政及び地域包括支援センター、医療機関、各関係機関との連携を行う。

3 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 収支実績

居宅介護支援 令和6年度収入状況及び支出の状況 (単位：円)

介護保険収入	10,732,070
利用料収入	0
委託料収入	135,300
補助金収入	35,711
寄付金収入	0
雑収入	48,500
その他	646
収入計	10,952,227

人件費	11,314,779
事業費	0
委託費	14,622
小額修繕費	0
その他	2,086,953
支出計	13,416,354